

こどもの便秘

医学研究所北野病院 小児外科

こどもの便秘とは？

便秘とは、便が長い時間出ないか、出にくい状態のことで、週に2回以下、または5日以上出ない日が続けば便秘と考えます。毎日出ていても、出す時に痛がったり、肛門がきれて血が出るような場合も便秘です。便が溜まりすぎると、少量の下痢の便が頻繁に漏れ出るようになります。このような場合、下痢だと思っていても、直腸内に詰まった大きな便(便秘)が原因です。



こどもの便秘の原因は？

離乳食など食事内容の変化や生活環境の変化、アレルギー、トイレトレーニングのつまずきなど様々な原因で起こります。少ないながら、先天的な腸の病気やホルモンの異常などが原因のこともあります。



こどもの便秘の治療は？

大きな便の塊がたまっている時は、まず詰まっている便を取り除く必要があります。浣腸で出ない時は、摘便と言って手で便を取り出します。お子様の場合、痛がったり、怖い思いをさせることがありますので状況によっては麻酔で寝た状態で行うことがあります。詰まっている便が取り除けたら、便をやわらかくするお薬を中心とした内服治療や、浣腸などの処置を継続して行います。

なかには先天的なヒルシュスプルング病という腸の病気がかくれている場合があります。その時は、根本的な手術を必要とすることもあります。

便秘のお子様はすでに痛みや恥ずかしさなどで排便に対しつらい思いを抱えていらっしゃると思いますので、当科では、できるだけ負担の少ない形で、それぞれのお子様に合った治療を進めていきます。排便のことでお悩みの方は一度ご相談ください。